

カード裏面の標記に一部曖昧な表現がありましたので訂正いたします

### デザインの由来



設置開始 1997年



オオハクチョウ



栗駒山

宮城県が所管している7つの流域下水道のうち栗原市内、登米市内を流れる迫川沿いの「迫川流域下水道」に設置されています。迫川が端と発する栗駒山は、宮城県・秋田県・岩手県の3県にまたがり、花の百名山として数え上げられ、日本屈指の山岳紅葉は「神の絨毯」と称されています。そのふもとは1985年に国際的に重要な湿地を保護する「ラムサール条約」に登録された「伊豆沼・内沼」があり、秋から冬にかけて数多くの渡り鳥の越冬地となっています。この地域は生物多様性があふれる自然の宝庫で、代表的な渡り鳥のオオハクチョウと風光明媚な栗駒山をデザインしました。

2301-00-001

伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター ©GKP



(正)端を発する

(誤)端と発する